

Association for Science and Philosophy 設立趣旨

発行・編集：

Association for Science and Philosophy 事務局

〒 102-8554 東京都千代田区 紀尾井町 7-1 上智大学 7 号館 313 内

office-asp@yamanami.tokyo

2018 年 7 月 17 日 制定

2018 年 7 月 17 日 施行

2020 年 1 月 23 日 改定

学問のたこつぼ化が極限に達しつつある現在、分野間相互の交流は急務となっている。所謂学際的な研究、領域横断的な取り組みは大小様々な規模で試みられている一方、その効果は何れもゼロに等しい。この原因は何であろうか。第一に、コラボレーションのあり方に問題がある。協働を行ったとしても、相手先分野の権威に乗っかる形でそれぞれが我田引水するに終始し、相手を熟知しようとするこも、自己の主張を相手の分野に寄り添って表現しようとしめない。これでは都会の雑踏で各々が一人で呟いているのとさして変わらない。

Journal of Science and Philosophy はこのような事態を打開するための実験的試みとして創刊された。一般に学術誌は当該分野の専門家のみが投稿し、閲読する。それゆえに分野内の暗黙の了解とその分野でしか通用しない独特なテクニカルタームが蔓延り、外部の読者の一切を遮断してしまう。査読はその孤絶をさらに強化するための仕組みに墮してしまった。

学術誌は急増し、そのオープンアクセス化は進んでいるが、こういった旧来の学術誌の弊害を相変わらず引きずっている。論文という記号列が「オープン」になっただけで、その議論の空間は相変わらず閉じたままだ。このような事態を打開するため、あえて特に意思疎通が困難であると考えられる科学と哲学にスポットを当て、相互の意思疎通を試みる。

